

Title	総合商社による先端産業分野のビジネスに関する考察
Sub Title	
Author	棚橋, 信人(Tanahashi, Nobuhito) 小幡, 績(Obata, Seki)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2015
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2015年度経営学 第3012号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002015-3012

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学位論文 プロポーザル (2015 年度)

論文題名

総合商社による先端産業分野のビジネスに関する考察

指導教員	小幡 績
副指導教員	浅川 和宏
副指導教員	齋藤 卓爾

学籍番号	81330836	氏 名	棚橋 信人
------	----------	-----	-------

論文要旨

所属ゼミ	小幡ゼミ	学籍番号	81330836	氏名	棚橋 信人
(論文題名) 総合商社による先端産業分野のビジネスに関する考察					
(内容の要旨) 将来の事業基盤拡大の為、総合商社が先端産業分野で新規事業創造を行ってゆく為の成功要因を少しでも明らかにすることが今回の研究の目的である。総合商社は新たな収益基盤を構築すべく卸売業の立場を基軸として、仲介取引で培った信用力、資本力、取引基盤という強みを最大限活用し、事業投資に取り組んでいる。大手総合商社5社の過去3年間の事例を通じて、既存事業領域のバリューチェーン上での事業投資では、自社の強みを生かし、調達先の確保、提供価値の拡大、取引先との関係強化といった現業とのシグーを一つ一つの積み重ねた事業投資を行っている事実を背景に、総合商社が調達先、販売先等、多種多様なネットワークを持っていることと、卸売業の立場から事業経営への展開を図ってきていることで、機能変化への対応能力があることを明らかにする。一方で将来的には市場規模の拡大が見込まれるものの、バリューチェーンが確立されていない先端産業分野については、どのようなアプローチで取り組んだらよいかについて考えてみる。先端産業分野は、産業の歴史が浅く、販路が明確になっていないことや新興企業の台頭が激しいことから、総合商社の得意分野ではない。しかしながら、先端産業分野は指数関数的な伸び率で急成長する可能性を秘めており、総合商社にとっても何らかの足掛かりを築いておく必要がある。このことから、総合商社が先端産業分野に事業投資を行うには、総合商社の信用力、資本力、取引基盤という強みを生かし、現業で関係が構築出来ている現業でシグーのあるパートナーを手繰り寄せ、そのパートナーと共に、小さく張って、足掛かりを築くことが有効であり、自社の強みを生かせる領域があるとの仮説を設定する。仮説の検証は、具体的にサービスロボットビジネスの領域での取り組み事例を題材として、製造業に属するロボットメーカーが外食産業、化学品産業、コンビニ業界等の異業種に対して新しい提案を可能にし、新たにビジネスに関する情報が自社に蓄積されてきていることを説明する。結論は、先端産業分野におけるビジネス構築は自社の強みを生かして、早い段階から発展途上のバリューチェーンに入り込み、仲介取引を通じて先端産業分野のバリューチェーン構築を行ってゆくことが重要であるとするものである。					